

硫黄鳥島

○概況（平成 17 年 6 月）

上空からの観測では、火山活動に異常は認められませんでした。

22 日に海上保安庁第十一管区海上保安本部が行った上空からの観測によると、硫黄鳥島の北側に位置する硫黄山火口(図 1)と島の中央部に位置するグスク山火口の西側火口縁からごく弱い少量の噴気が確認された程度で、火山活動には特に異常は認められませんでした。

気象研究所と東京大学地震研究所が共同で実施している地震観測によると、期間中の地震活動には特に異常はみられませんでした。

硫黄鳥島では、4 月 25 日に沖永良部島の住民から噴煙の目撃情報があり、翌 26 日に海上保安庁が行った観測で、硫黄山火口から火口縁上の高さ 500m まで上がる白色噴煙が確認されています。



図 1 硫黄山火口内の状況（2005 年 6 月 22 日）
火口内には弱い白色噴気が認められた。

